

# 5期目も残すところ1年余り



島根県議会議員

## はくいし恵子

《プロフィール》

1949年松江市北堀町生まれ。北堀小学校（現・城北）、県立静岡女子大学（現・静岡県立大学）を卒業。1975年島根県職員となる。福祉事務所、健康福祉センターなどにケースワーカーとして勤務。2006年10月島根県を退職し、2007年4月県議会議員選挙に初当選。（現在5期目）女性問題を考える市民活動として、性暴力被害者ワンストップ支援センター「さひめ」支援員、精神障がい者通所施設「アクティブきたほり」第三者委員、社会福祉法人島根東光学園理事を務める。

大田市  
温泉津町

会派調査

## 人が集まるまちづくり



7月23・24日は会派の県内調査、8月27・29日は名古屋、岐阜で県外調査を行いました。県内調査は、大田市温泉津町と大森町へ。温泉津町は古くからの温泉地という言葉がぴったりです。

したが、最近活性化して面白くなってきているよ、という話を聞いていたので行ってみました。キーパーソンは近江雅子さんという江津市出身の方で、西念寺というお寺の住職の奥様です。10年前まで家族で東京に住んでおられました。お連れ合いが家の寺を継ぐことが決まり、移住。温泉津の魅力が伝えたいと古民家を改修し、次々に長期滞在できるゲストハウスを作り「暮らすような旅」を目指しました。

また、温泉津を訪れた人の中にはピーターや移住する人たちも現れ、



(この日訪れていた旅するシェフ)

古臭い温泉街が、コンパクトな街に魅力がいっぱい詰まっているおしゃべりな「温泉津」へと変貌を遂げていました。

## Uターン者がひなびた温泉地を活性化

したが、最近活性化して面白くなってきているよ、という話を聞いていたので行ってみました。キーパーソンは近江雅子さんという江津市出身の方で、西念寺というお寺の住職の奥様です。10年前まで家族で東京に住んでおられました。お連れ合いが家の寺を継ぐことが決まり、移住。温泉津の魅力が伝えたいと古民家を改修し、次々に長期滞在できるゲストハウスを作り「暮らすような旅」を目指しました。



夕食後、東京銀座のバーの店主が営むバーに行きました。店主は「銀座の店は、店員に任せて自分ほとんど温泉津にいる」と話してくれました。



木村先生(左)と工藤先生(右)

# 弱い立場の人のための政治を

皆様お健やか  
に新しい年をお  
迎えのことと存  
じます。

は、石破政権の発足から、  
わずか一年で高市首相へ  
と交代、その間参議院議  
員選挙がありました。が、  
自民党は衆参とも過半数  
に達せず、少数与党とな  
りました。

良かった」とはならない  
と思つています。女性の  
リーダーを待望するのは  
政治に多様な価値観を取  
り入れてほしいと思うか  
らですが、どうもそうな  
らない気がします。

私個人は、なんとも時  
の流れが速く、5期目も  
残すところ1年余りとな  
り議員として20年目を迎  
えます。

不登校の子どもの人数  
が増え続けています。直  
近の調査では全国で35万  
人、島根県で2,445人  
です。なぜこんなに増加  
するのか、いじめが原因の  
場合もありますが、それ  
だけではないと思います。

「やってみた  
い」より「やら  
なければならな  
い」が優先され  
る、やらなければ  
ならないこと  
が多く、いや  
と言えない、わ  
がままを言えな  
い、こんな子どもを取り  
巻く社会を変えなければ

## 主体的な学びを育む教育へ — 子どもが真ん中 —

三者が共通して仰るの  
は、今の教育を変えなけ  
りました。

れはならないということ。  
日本の教育の問題点は、  
国連からも指摘されてい  
ます。  
子どもを真ん中にした  
教育、自分がどうしたい  
のか、何を学びたいのか、  
誰と遊びたいのか、自分  
で考え行動することを「学  
ぶ」学校に変えていきたく  
い。私も心から思います。

# 風だより

県議会議員はくいし恵子の



発行者 島根県議会議員  
はくいし恵子  
2026年1月10日発行  
拡大版 VOL.38

## (はくいし)事務所

〒690-0882  
松江市大輪町414-12  
TEL・FAX  
0852-23-0880

HPアドレス

http://  
www.k-hakuishi.  
sakura.ne.jp/office/



※是非、お立寄りください。

# はくいし恵子の県議会報告



## 9月県議会

一般質問から抜粋  
(9/10～10/9)

## 6月県議会

一問一答から抜粋  
(6/9～7/2)

6月議会が6月9日から7月2日まで開催されました。私は一問一答に立ち、ご質問をいただいたことを元に取り上げた原簿についてなど2項目の質問をしました。

### 心理士の追加配置で 職員相談の体制強化を

質問：県職場のハラスメント対策について

(1)県では平成25年から毎年職員アンケートを行っているが、傾向を伺う。

【総務部長】平成25年はハラスメント全体で11.4%。近年はパワハラ12.13%、セクハラ2%前後で推移している。

(2)パワハラに関しては、①優越的な関係②業務上必要以上の言動③その人の就業環境が害されるものという3要素を満たす

【総務部長】処分の対象とするものは3要素を満たすものとしているが、その他は幅広く相談に応じ、対応していきたいと考えている。

(3)福利厚生室は幅広い相談に応じているが、スーパーバイザー(※)としても期待できる心理士を常駐すべきではないか。

ものである、とされている。パワハラは判断としてこの3要素が一人歩きしないよう願うが見解は。

【総務部長】処分の対象とするものは3要素を満たすものとしているが、その他は幅広く相談に

応じ、対応していきたいと考えている。

【総務部長】処分の対象とするものは3要素を満たすものとしているが、その他は幅広く相談に

応じているが、スーパーバイザー(※)としても期待できる心理士を常駐すべきではないか。

9月議会が9月10日から10月9日まで開催されました。私は一般質問に立ち、令和7年3月に改訂された「環境総合計画」についてなど3項目の質問をしました。

### アンコンシヤスバイアスの 解消で社会を変える

質問：アンコンシヤスバイアスについて

\*アンコンシヤスバイアス：無意識の思い込みのこと。男女だけでなく「らしさ」と言われる様々なことを何の根拠もなく信じ込んでいること。

(1)地域に根強いアンコンシヤスバイアス解消の取組は。

【女性活躍推進統括監】まね女性センターの専門性を生かし、一層取組を

進めるにはどう連携し、どう役割分担するのが効果的かを考えて取り組みたい。



【知事】現在5名の保健師で対応している。その1人を心理職に変えることは考えていない。外部の医師や心理相談員の委嘱で対応する。

(※)スーパーバイザー：監督者や管理者のこと。メンタルヘルスケアにおいては、相談者等が当事

者に対して効果的な支援や対応ができるよう、指導者として、また支援者としての役割を担う専門家のこと。

\*保健師を減らさず、心理士を追加配置してほしい。必要性を分かってく頂

き、前向きな検討を。

【知事】現在5名の保健師で対応している。その1人を心理職に変えることは考えていない。外部の医師や心理相談員の委嘱で対応する。

(※)スーパーバイザー：監督者や管理者のこと。メンタルヘルスケアにおいては、相談者等が当事

者に対して効果的な支援や対応ができるよう、指導者として、また支援者としての役割を担う専門家のこと。

\*保健師を減らさず、心理士を追加配置してほしい。必要性を分かってく頂

き、前向きな検討を。

【健康福祉部長】期間中の

【知事】環境総合計画の中に取り入れることで、再生可能エネルギーが温室効果ガスの削減、地球温暖化対策に果たす役割が明確になった。したがって引き続き環境総合計画に位置付けて取り組む。

【知事】環境総合計画の中に取り入れることで、再生可能エネルギーが温室効果ガスの削減、地球温暖化対策に果たす役割が明確になった。したがって引き続き環境総合計画に位置付けて取り組む。

### 再生可能エネルギー施策 独立した計画が必要

質問：再生可能エネルギーについて

(1)再生可能エネルギー基本計画を環境総合計画に組み込んだ理由は。

【環境政策部長】再生可能エネルギー諸施策は、自然共生社会、脱炭素社会、循環型社会等の実現に向けた諸施策と密接に関連しているため環境総合計画に統合し、一体的に進

めるのが適切と考えた。

(2)県の再生可能エネルギー施策の推進について知事の考えは。

【知事】地球温暖化対策や地域の活力向上につながる再生可能エネルギーの導入促進を、条例に従って進めていきたい。

(3)再生可能エネルギー施策を元のように独立した計画にする考えは。

【知事】環境総合計画の中に取り入れることで、再生可能エネルギーが温室効果ガスの削減、地球温暖化対策に果たす役割が明確になった。したがって引き続き環境総合計画に位置付けて取り組む。

### 原子力災害に備え 住民へ情報提供を

質問：原子力発電所に関する広報について

(1)島根原発は風向風速を公開していない理由は。

【防災部長】現在は1か所に立体的な観測機器を設置しているが、エリア内の風向風速をリアルタイムで表示することは技術

的に困難であるため表示していない。

(2)一般住民が知りたい場合、どうすれば知る事ができるのか伺う。

【防災部長】気象庁の観測データを参照頂くのが良い。

(3)放射線量の単位が県のHPでは「グレイ」、国の規制委員会のHPでは「シーベルト」となっているが、なぜか伺う。

【防災部長】県は平常時の監視状況のため、環境放射線量を表す「グレイ」を、規制委員会は緊急時の避難の判断に用いるため、人体影響放射線量を表す「シーベルト」を使っている。

(4)放射線の単位の違いや風向風速がなぜ表示されないのか、それを知る方法等、聞かないと分からないことが多すぎる。HP上などで丁寧な説明をしてほしい。

【防災部長】HP上で分かりやすく、丁寧な説明を追加すべきというご提案について、内容を検討し、必要な見直しを行って分

かりやすい広報に努める。

(5)原子力災害時はバスでの避難を想定しているが、先日の新聞報道で、新潟県では実際には被爆の恐れや運転手不足等で1割程度しか確保できないとあった。島根県も再確認が必要ではないか。

【防災部長】鳥取県を除く中国4県のバス協会と毎年意見交換や乗務員を対象とした研修を実施している。引き続き、研修等



【健康福祉部長】避難先は県が調整する。医療機関は患者情報のみ提供すればよい。

島根・鳥取  
合同研修

毎年恒例の「民主とつとり」との合同研修。10月20・21日の日程で、雲南市波多コミュニティ協議会、奥出雲町の株式会社加地を訪問しました。鳥取側のリクエストでしたが、とても良い調査でした。

雲南市波多地区  
「コミュニティ」  
が地域をつくる

波多コミュニティ協議会は、小さな拠点づくりの拠点として様々な取組をされている島根県では有名なところだ。

奥出雲町三成  
島根から発信  
する新素材

奥出雲町三成にある「株式会社加地」は、元はスポーツシューズの縫製工場だったのですが、平成7年樹脂製の新素材E×G E Lを開発され、現社長の「これからは福祉だ」という考えのもと、車椅子のクッションを始め、アームレストパッド、ベッド用マット、シャワー椅子用クッションなどを製造するようになり、今は医療介護のみならず、会社家庭、スポーツ、車など様々な場面における製品を制作されています。



一番のコンセプトと考えられるのは、「住民の皆さんの福祉のため」。小学校の閉校を機に、アンケートで住民の意見を集約され、①思いやりをもって助け合える仕組みづくり②生き生きと、元気で、前向きな暮らしづくり③波多を愛する心を育むという3つの目標のもと、買い物支援や無料自治会輸送等に取組まれています。

マーケットの手前におしゃべりできる居場所もあり、そこで「スマホ相

動きはじめた「指談」  
—投票できたよ—

前月号で指談（ゆびだん）について報告をしましたが、その後日談です。復習をしますと、「指談」とは、重度の障害によって言葉を発することができない人たちがわずかに動く指先を使って、介助者の指先に「○」や「△」を書くことで自分の意思を伝える方法です。



本社・工場は三成ですが、京都にも工場、横浜と京都に営業所があり、東京や大阪の百貨店で家庭用の椅子パッドを販売し、海外展開もされています。

島根側の議員の大半が、この会社を知りませんでした。議会関係者の訪問は今回が初めてで、県内では知られていないのは取

前月号(vol.37)はホームページにも掲載

念願の「投票」  
が実現

しかし、質問によってかなり理解が進んだと思ったので、10月の衆議院選挙には何としても指談による投票を実現したいと思い、指談の普及に取り組んでおられる天野依子さんをお願いし、全国



ソロブチミスト松江会長と

時ことりさんは電子ボード（彼女は介助すれば電子ボードに字が書ける）に「選挙（＝投票）」がしたい」と書きました。ですが、6月議会の質問ではまずは「指談」を知ってもらおうことが先でしたので「指談で投票が出来ない」ことだけを伝えました。

ひろがる  
指談への理解

また、それを聞いた他市の方も、ぜひ自分もと居住地の選管に出かけ、なんとその日に事前投票をすることができました。11月議会答弁では、指談研修会に県選管が積極的に参加し、市町村選管



管に全国の事例を伝えてくださいました。そして、ことりさんと一緒に松江市選管に行きました。既に県外の事例をよく読んでくださっており、担当者も決めており、その場で練習もできました。その後何回か練習に通い、とうとう投票することができました！

母子生活支援施設が経営危機  
—情報提供の強化を—

皆さんは「母子生活支援施設」をご存じでしょうか。中には「母子寮」の方のほうがなじみ深いかもしれません。大正時代は救護法に定められ、戦後、夫を戦争で亡くして母子となった方々の生活の場として児童福祉法に定められた施設です。

皆さんは「母子生活支援施設」をご存じでしょうか。中には「母子寮」の方のほうがなじみ深いかもしれません。大正時代は救護法に定められ、戦後、夫を戦争で亡くして母子となった方々の生活の場として児童福祉法に定められた施設です。

県にも広報を依頼、施設にもHPの作成や県内市町村を回ってもらう等積極的な周知をお願いしました。

島根東光学園の利用促進  
県内唯一の母子生活支援施設

施設の利用は市町村の措置が必要で、まずは県内市町村の母子福祉担当が施設をよく理解することが大切だと思い、島根

# 集団から家庭的支援へ

## ―子ども達の幸せのために―

環境厚生委員会では調査テーマが「様々な困難を抱える子ども達への支援について」となり、県内・県外調査とも、児童養護施設、母子生活支援施設を訪問し、貴重な勉強をしました。

特に児童養護施設は近年小規模化が進み、個室や二人部屋に建て直され、快適な住環境になっていました。

また、できるだけ家庭的な環境で養育することも進められており、一軒の家で数人が暮らすなど私が知っている大規模施設とは全く違った環境になっていました。

施設で暮らす子どもたちも、やがて成長して社会に出て家庭を持った時、家族の支えを考えると、家族の切な経験になるはず。今の児童養護施設は被

## 環境厚生委員会調査



虐待児も多く、対処方法や親との再統合等職員の皆さんはより専門性が求められ大変ですが、子どもたちの幸せのため頑張っておられることに感謝したいと思います。

松江赤十字乳児院の中心にできた「里親家庭サポートセンター」のひろ

では、里親希望者の研修や受託に向けた準備、委託後の相談や養育相談と切れ目のないサポートを行っておられます。

近年「施設から里親へ」と国の方針も変わり、里親委託が推奨されていますが、サポートがないと行き詰ってしまい、委託

められており、一軒の家で数人が暮らすなど私が知っている大規模施設とは全く違った環境になっていました。

施設で暮らす子どもたちも、やがて成長して社会に出て家庭を持った時、家族の支えを考えると、家族の切な経験になるはず。今の児童養護施設は被

虐待児も多く、対処方法や親との再統合等職員の皆さんはより専門性が求められ大変ですが、子どもたちの幸せのため頑張っておられることに感謝したいと思います。

松江赤十字乳児院の中心にできた「里親家庭サポートセンター」のひろ

では、里親希望者の研修や受託に向けた準備、委託後の相談や養育相談と切れ目のないサポートを行っておられます。

近年「施設から里親へ」と国の方針も変わり、里親委託が推奨されていますが、サポートがないと行き詰ってしまい、委託



解消にもつながります。島根にもやつとサポートセンターができたことを嬉しく思います。

今の子供達が生きる社会はとも厳しい状況にあつた時、相談できる場所や信頼できる人がいることがとても大切です。調査に伺った全ての施設はそういった子ども

べられないことはありませんでした。日本は本当に先進国なのでしょうか？

更にその後、行政への調査結果では、1年半前に成立した「子どもの貧困対策解消法」では、自治体の責任が大きくなっているのに島根県や市町村の動きは鈍いままです。

私の質問答弁でも積極的な問題意識は感じられませんでした。今後、島根県がこの一連の調査をしっかりと分析し、市町村と共に子どもの貧困対策が具体的に取組まれるよう、更に目配り気配りを続けていきます。

## 「子ども食堂」は政治と行政

### ―考えてほしい政治と行政―

「子ども食堂」の名付け親である近藤博子さんが、「子ども食堂」の名前を使わないと宣言した、という新聞記事を見ました。13年前、近藤さんが近所の繋がりができれば、と始めた「子ども食堂」。

全国に広がる中、求められる役割も増えていきました。最初は「貧困対策」その後「居場所づくり」ETC。でも近藤さんは、子ども食堂で問題を解決しようとするのはおかしい、と思うようになりました。

なぜ子どもの貧困が生まれるのか、なぜ子ども

政治家や国や行政はこの現実をしっかりと見るべきだ、という近藤さん。耳が痛いですが。私も子ども食堂を増やすべきだと言ってきましたから。

11月に、出雲市の常設

フードバンク利用者を対象にしたアンケート結果も見せて頂く機会がありました。ひとり親家庭では夏休みに3人に1人の子ども、2人に1人の

親がご飯を食べられないことがあった、という現実を突きつけられ、愕然としました。

私も貧しいシングルマザーの家庭で育ちましたが、少なくともご飯を食

## 法改正で性暴力は無くなるのか？

11月12日、しまね女性センターと県女性相談センターの共催で行われた講演「DV・性暴力と男尊女卑依存症社会」を聞きました。

令和3年には「教職員による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が成立、また令和5年には刑法の改正があり、同意性交等罪、不同意性交等罪、13歳以下の子ども

等は無条件に不同意とみなされることや夫婦間やパートナー間でも成立するとされました。性的姿態撮影罪も新設され、撮影、保存、他人に見せることも罪となります。

しかし、性暴力は後を絶たず、誰でもスマホを持ちSNSが一般的になる中、生徒同士の性暴力も増加しています。被害者にも加害者にもならないために私たちはどうすればいいのか、この度の講演は大きな学びになりました。

講師は東京の精神科クリニックの副院長をされている精神保健心理士・社会福祉士の齊藤章佳先生で長年アルコール依存症、ギャンブル、薬物依存症、DVや性犯罪の臨床に携わっている方です。つまり、性犯罪も依存症のひとつである、と

いう事だと思えます。

**性犯罪を繰り返す加害者の心理**

先生は多くは男性が加害者であり、その根底には幼少期から学習してきた男尊女卑の考え、つまり「男は強くあれ」と言われ続け、しかしそうできない自分が盗撮などによって「勇気がある」「すごいな」と称賛され、成功体験になることで加害を繰り返すことになることや、親しい関係で起こる性暴力は加害者がターゲットを見定め、優しさを聞き、気持ちに寄り添い、共感するというカウンセラーのような手法で被害者の信頼を得るのだという話をされました。

また加害者は、刑務所に入るだけでは改善されず、出所すれば繰り返す

事になるので出所前から面接し、クリニックの加害者プログラムに繋がっているとのことでした。先生は各県で一か所は加害者臨床を行えるようにしなければいいと言われました。

島根県でも「こころの医療センター」「心と身体」の相談センター」でしっかり勉強して、性暴力加害者プログラムができるようになってほしいと思います。

**幼少期から自分も他人も大切に**

また日本は文部科学省のいわゆる「はじめて規定」があり十分な性教育を行っていませんが、齊藤先生の話から、まずは生まれ落ちた時から男女問わず相手も自分も大切にすること、自分はどうしたのかを中心においた子育てや教育をすることが大切だと思えました。

「男尊女卑依存症」とは？

DV・性暴力と男尊女卑依存症社会

11月12日(水) 13:30-15:30

島根県民会館 大会議室

齊藤章佳 先生

講演料 1,140円

県立中央病院が、今大変なことになっています。令和6年度決算で赤字額16億円となったのです。原因はコロナ補助金がなくなったことや医療資材の高騰、人件費アップに對して、診療報酬がカバーできるほど上がらなかったことが原因です。

他にも様々な原因があると思いますが、県立中央病院だけでなく、全国の公立病院の8割の病院が赤字になっていることから見ると、どう考えても国の政策の誤りではないでしょうか。

穿った見方をすれば人口が減っていく中、公立病院を統合・廃止・小規模化した方がいい、と思えてなりません。杞憂でなければい

## 医療が危ない 公立病院が経営の危機に

いのですが、このままでは政策医療を担い、コロナ等新たな感染症が出た時や大規模災害時には命を守る者となる公立病院にも関わらず、ベッド数減や診療料の縮小などをしなければならぬ状況です。かといって安易に診療報酬を大幅に上げれば患者に負担を押し付けることになり

今、保険料負担を上げて医療費予算を賄おうという動きが出ていますが、それでいいのかよく考えなければなりません。

私としては、トランプさんの言いなりに防衛予算を大幅アップするより、病院の支援に回してほしいものだと思うのですが、皆さんはどう思われますか。